



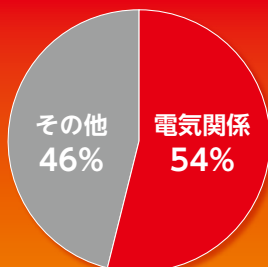
春季
全国

火災予防運動を実施します

火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防の意識を高め、火災の発生を予防し、生命・財産を守ることを目的としています。

今、備えよう。 大規模地震時の 電気火災対策

地震による火災の過半数は
電気が原因です。



▲消防庁啓発動画
「今、備えよう。大規模地震時の電気火災対策」



認証マーク・推奨マーク

どうして電気から火災が発生するの？

- 地震の揺れで電気ストーブが転倒したり、暖房器具に落ちた洗濯物などから出火します。
- 家具が転倒し、その下敷きとなったことで断線した電気コードがショートして出火します。

電気火災対策と合わせて取り組みましょう！

暖房器具は耐震自動消火装置付きのものにする、家具の転倒防止を行うといった対策や、自宅には住宅用火災警報器や消火器を備え、火が小さいうちは初期消火をするようにしましょう。

住宅での電気火災に注意！

近年、**電気器具類***を原因とする**住宅火災が増加**しています。特に**モバイルバッテリー**のように繰り返し使える**充電式電池**による火災が著しく増加しています。

*家庭内で使用される電子レンジ、エアコン、延長コード、電池などの電気機器、電気製品など

消防庁啓発動画
「住宅における電気火災の原因と予防対策」



リチウムイオン電池などの充電式電池は適切に処分しましょう！
⇒詳細は2ページをご確認ください。

火災事例

▶暖房器具で暖められ、内部に熱がこもり発火

充電式電池を暖房器具の近くに置くなどして暖められると、内部に熱がこもり電池を損傷させ発火する場合があります。



▶水に落としたことによる発火

洗面所などで水没させた場合、内側に水が浸み込むことで異常が生じ、通電時などに内部でショートして発火する場合があります。



▶落下による発火

落下などにより、強い衝撃が加わると、変形や電池内部の損傷により、発火する場合があります。



火災予防対策と まとめ

充電式電池は、説明書をしっかり確認し使用方法を守るとともに、濡らしたり、ぶつたりしてしまった場合は、電池に異常がないかしっかり確認し、電池が膨らむなど少しでも異常があれば、使用をやめましょう。充電式電池は近年使用が増え、それに伴い火災件数も増えていきます。原因はさまざまで、使用方法の不備や改造、製品の不良などがあります。**PSEマークが表示されているかなどを確認の上、一定の安全が確保されているものを使用し、火災を予防しましょう。**

出典：消防庁ホームページ「今、備えよう。大規模地震時における電気火災対策」「住宅における電気火災の原因と予防対策」を加工して作成



川口市消防局
KAWAGUCHI CITY FIRE DEPARTMENT

問い合わせ…消防局 予防課 ☎048-261-8371
南消防署管理課 ☎048-222-8280
北消防署管理課 ☎048-261-3182
東消防署管理課 ☎048-287-3574

FAX 048-262-4850
FAX 048-225-7068
FAX 048-267-4664
FAX 048-286-3711